



令和6年度教育活動の紹介

桂川小学校 校長 薄井純一

1 情報活用能力向上事業

情報技術が急激に進展している今日、スマートフォン・タブレットPC・パソコン等は、子どもたちにとって身近な情報ツールとなっています。そこで、町内小中学校では、令和4年度から「情報活用能力向上事業」に取り組んでいます。本校では、学校に導入されたタブレットPC・電子黒板を活用し、子どもが「情報を収集・整理する力」や、「適切に情報を発信・伝達する力」の育成に取り組んでいます。写真は、子どもが自分の考えをタブレットPCにまとめ、その後電子黒板でそれぞれの考えを交流している学習の様子です。



また、機器を操作するだけでなく、情報社会で適正な活動を行うための考え方や態度を育成するために、情報モラルに関する学習にも力を入れています。

2 学校給食研究指定委嘱事業

本年度より、町内小中学校が連携して、「食への関心を高め、自分の食生活を豊かにしようとする児童生徒の育成」をテーマに、食に関する指導の充実に取り組んでいます。



下学年では、野菜の栽培活動などの直接体験を通して「食に関する興味・関心」を高める取組を、上学年では、家庭科等の学習を通して、「食品を選択する力・自分の食を管理する力」を高める取組を進めています。

また、毎日の学校給食を、「感謝の心」や「食文化」について学ぶ機会としています。

このように、子どもたちに必要な力を身に付ける教育活動に日々取り組んでいます。保護者の皆様・地域の皆様には、引き続き本校教育活動にご理解・ご協力をお願いします。

子どもが主語となる学校づくり

桂川小学校 校長 合澤博之

桂川小学校は、「やればできる桂小キッズ」を合言葉に、子どもたちと教職員が協働して「明るく前向きな雰囲気のある学校づくり」を進めています。今年度の重点は、「子どもが主語となる学び」を実現することです。今年度は、児童会の委員会が中心となり、新しく始めた活動を三つ紹介します。

① 縄跳び週間(体育委員会)

体力向上のため5月13日～22日の中休みに実施しました。全校放送で桂川小のテーマソング「やればできるの歌」が流れている間、縄跳びに取り組みました。全校児童が運動場で一斉に縄跳びをする姿は圧巻でした。



② 見つけ掃除の日(環境委員会)

5月24日の掃除時間に実施しました。この日はいつもの掃除は行わず、

自分で見つけたところを自分のやり方で掃除します。廊下の隅、給食台の下、出入り口扉のレールなど、掃除が必要ところを事前に見つけておき、一人で掃除をします。合言葉はもちろん「そうじは『だいい』(だまって、いっしょうけんめい、じかんいっぱい)」です。



③ 挨拶ヒーロー(生活委員会)

7月2日から5日までの取組です。登校時刻に昇降口で生活委員会が挨拶運動をします。挨拶が上手にできた子にインタビューし、「今日の挨拶ヒーロー」として校内放送で紹介します。挨拶の合言葉は、「語先後礼」です。

これらの活動は、高学年の各委員会の子どもたちが考え出し、代表委員会で承認された活動です。活動に、素直に前向きに取り組む全校の子どもたち、その姿をとっても誇らしく感じています。

桂川小では、「子どもが主語となる学校づくり」が進行中です。